



OPTEX

2024年12月期 第1四半期 決算説明資料

オプテックスグループ株式会社

証券コード6914

2024年5月10日

<免責事項>

本資料に記載しております、オプテックスグループ株式会社の業績、戦略、事業計画等の将来予測を示す記述については、発表時点で入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が記述されている将来予測とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

事業セグメント

SS事業において、従来「防犯関連」および「その他」に含めていた「社会および環境関連」の量的な重要性が増したため、当第1四半期より「社会・環境関連」として記載する等、区分方法を変更。

SS事業 (SS : Sensing Solution)	防犯関連	屋外用防犯センサー
	自動ドア関連	自動ドアセンサー
	社会・環境関連	車両検知センサー、水質計測センサー
IA事業 (IA : Industrial Automation)	FA関連 (FA : Factory Automation)	工場用センサー
	MVL関連 (MVL : Machine Vision Lighting)	画像検査用LED照明
	IPC関連 (IPC : Industrial PC)	産業用コンピュータ
	MECT関連 (MECT : Mechatronics)	自動化機械装置
EMS事業 (EMS:電子機器受託生産サービス)		
その他事業 (ソフトウェア開発、環境体験学習の運営)		

1. 2024年12月期 1Q決算概要

2. 2024年12月期業績予想

3. TOPIC

2024年12月期 1Q決算発表のポイント

連結売上高は前年同期比+12%の増収。

SS事業：国内は主要顧客向けが堅調。海外向けはインフレ影響下も順調に推移。

IA事業：FA関連は、欧州での在庫調整や中国の設備投資需要の低迷の影響で低調。

MVL関連は、国内の半導体・電子部品向けの販売が伸び悩み。

MECT関連の二次電池製造装置の納品が順調に推移。

連結営業利益は前年同期比+0.2%の増益。

相対的に原価率が高いIA事業 MECT関連の売上構成比が上昇し、原価率が低い

MVL関連の売上構成比が低下したこと等により、売上原価率が2.7ポイント上昇。

為替の影響等で販管費が増加。

2024年12月期 1Q連結決算 総括

経営成績 (単位:百万円)		2023/12期 1Q (1-3) 実績	2024/12期 1Q (1-3) 実績	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上高		13,822	15,464	+1,642	+11.9%
営業利益 (営業利益率)		1,751 (12.7%)	1,755 (11.4%)	+4	+0.2%
経常利益		1,753	1,981	+228	+13.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		1,182	1,301	+119	+10.1%
1株当たり 四半期純利益 (円)		33.29	36.65		
為替レート (円)	1USD	132.34	148.61		
	1EUR	142.10	161.31		

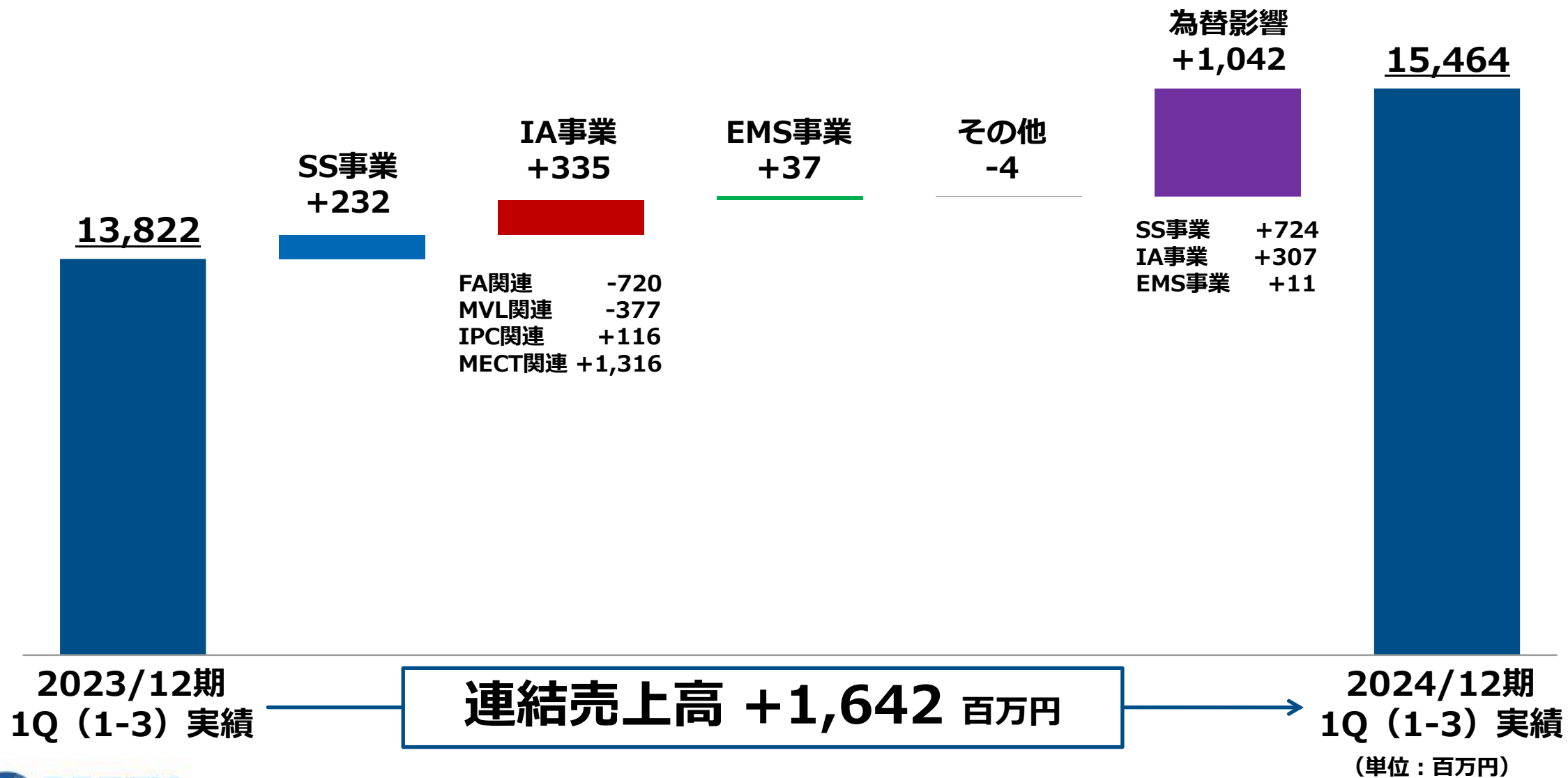
2024年12月期 1Q連結決算 セグメント別 売上高・営業利益

経営成績 (単位:百万円)	2023/12期 1Q (1-3) 実績		2024/12期 1Q (1-3) 実績			
	売上高	営業利益 (営業利益率)	売上高	対前年同期 増減率	営業利益 (営業利益率)	対前年同期 増減率
SS事業	6,119	694 (11.3%)	7,075	+15.6%	1,165 (16.5%)	+67.9%
IA事業	7,448	955 (12.8%)	8,089	+8.6%	729 (9.0%)	-23.7%
EMS事業	128	239	175	+37.1%	-169	—

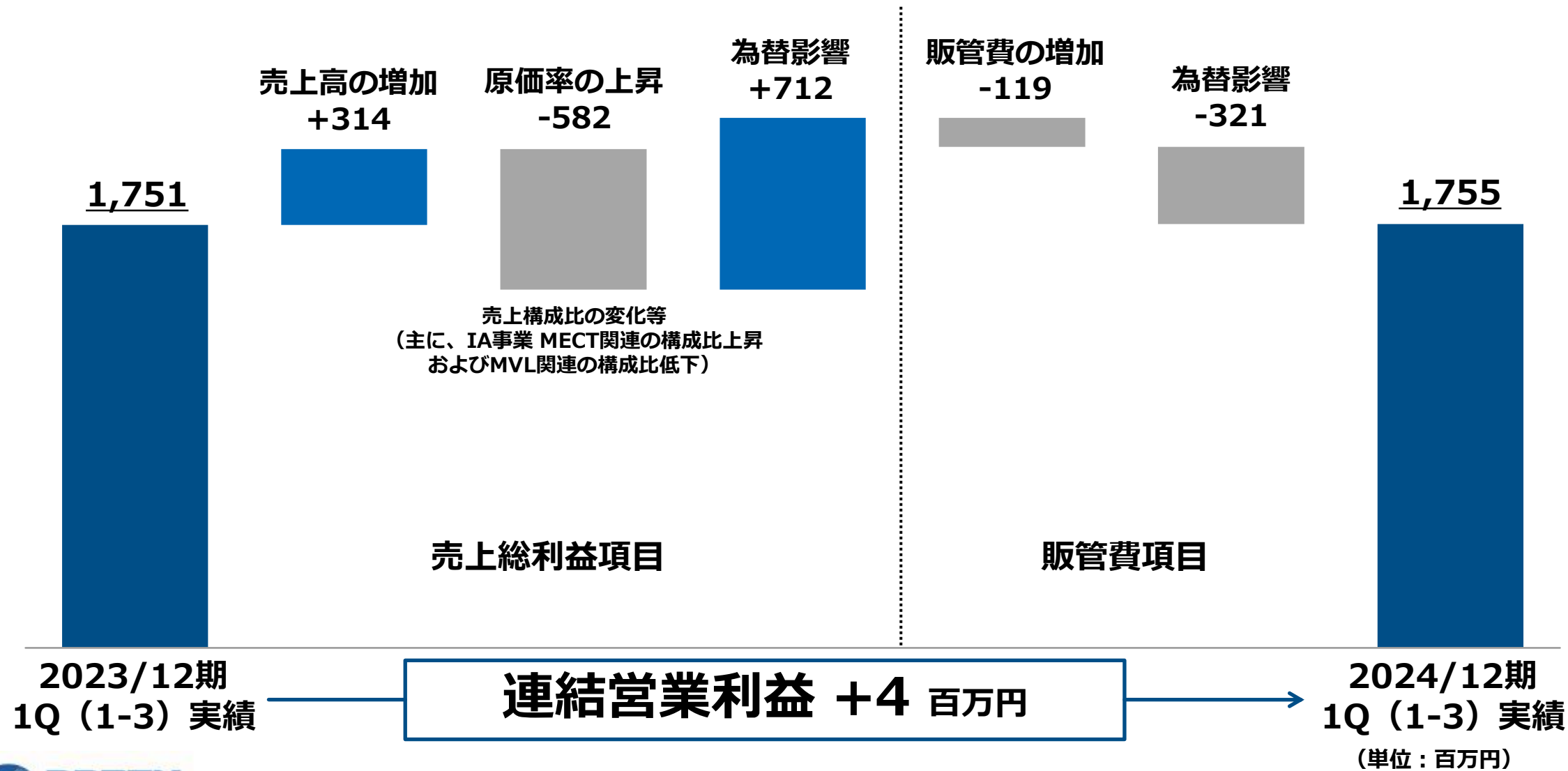
※セグメント別の売上高は、セグメント間取引の売上高を消去した数値を表示しています。

※セグメント別の営業利益は、セグメント間取引の営業利益を含む数値を表示しています。

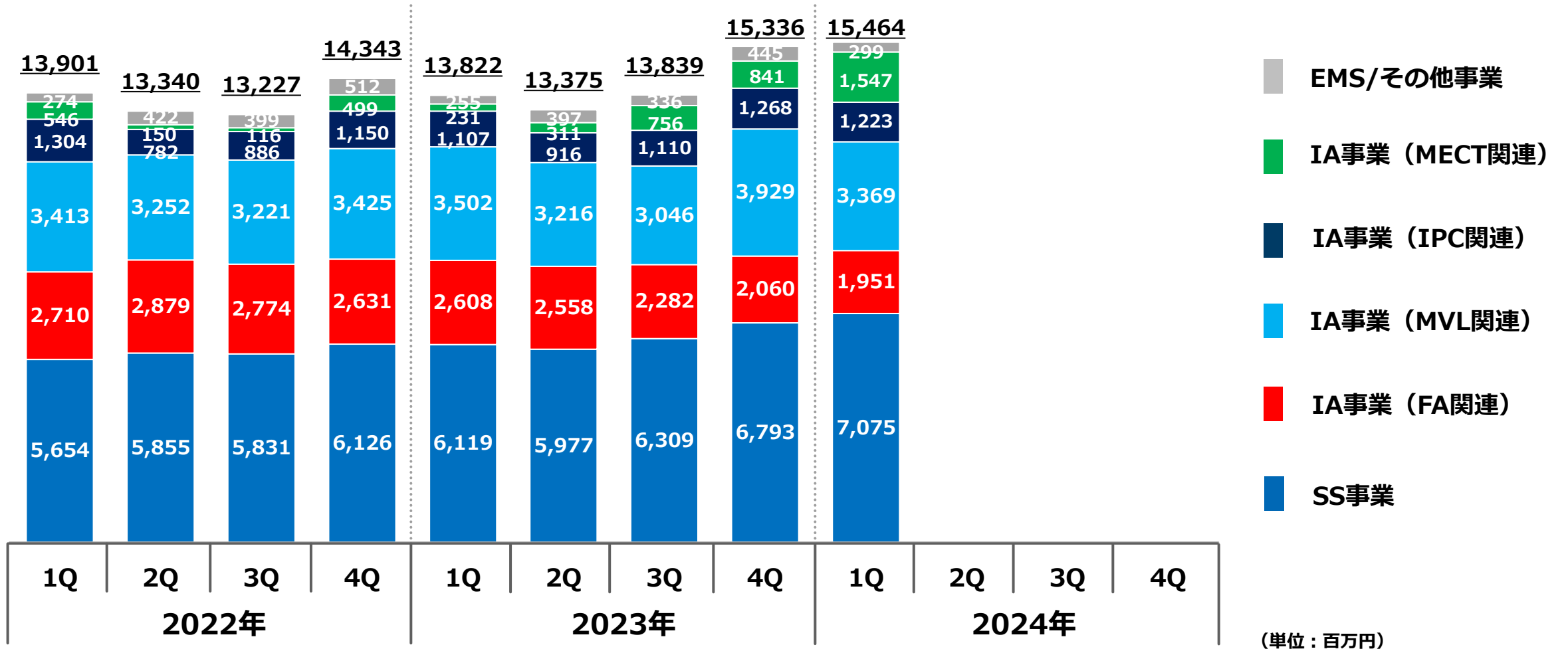
2024年12月期 1Q連結売上高 増減要因（前年同期比）



2024年12月期 1Q連結営業利益 増減要因（前年同期比）



連結売上高 四半期推移 (2022-2024年)



(単位：百万円)

セグメント・SS事業（防犯関連）

地域	2024/12期 1Q(1-3) 業績のポイント
日本	・ダイレクトマーケティング戦略による営業力の強化で大型重要施設向けの案件獲得が増加
米州	・データセンター向けでレーザースキャンセンサーの販売が堅調に推移
欧州	・ダイレクトマーケティング戦略による営業力の強化で大型重要施設向けの案件獲得が増加 ・新規販路開拓が進み、住宅向けの販売が順調に推移
アジア	・中国向け屋外警戒用センサーの販売が伸び悩む



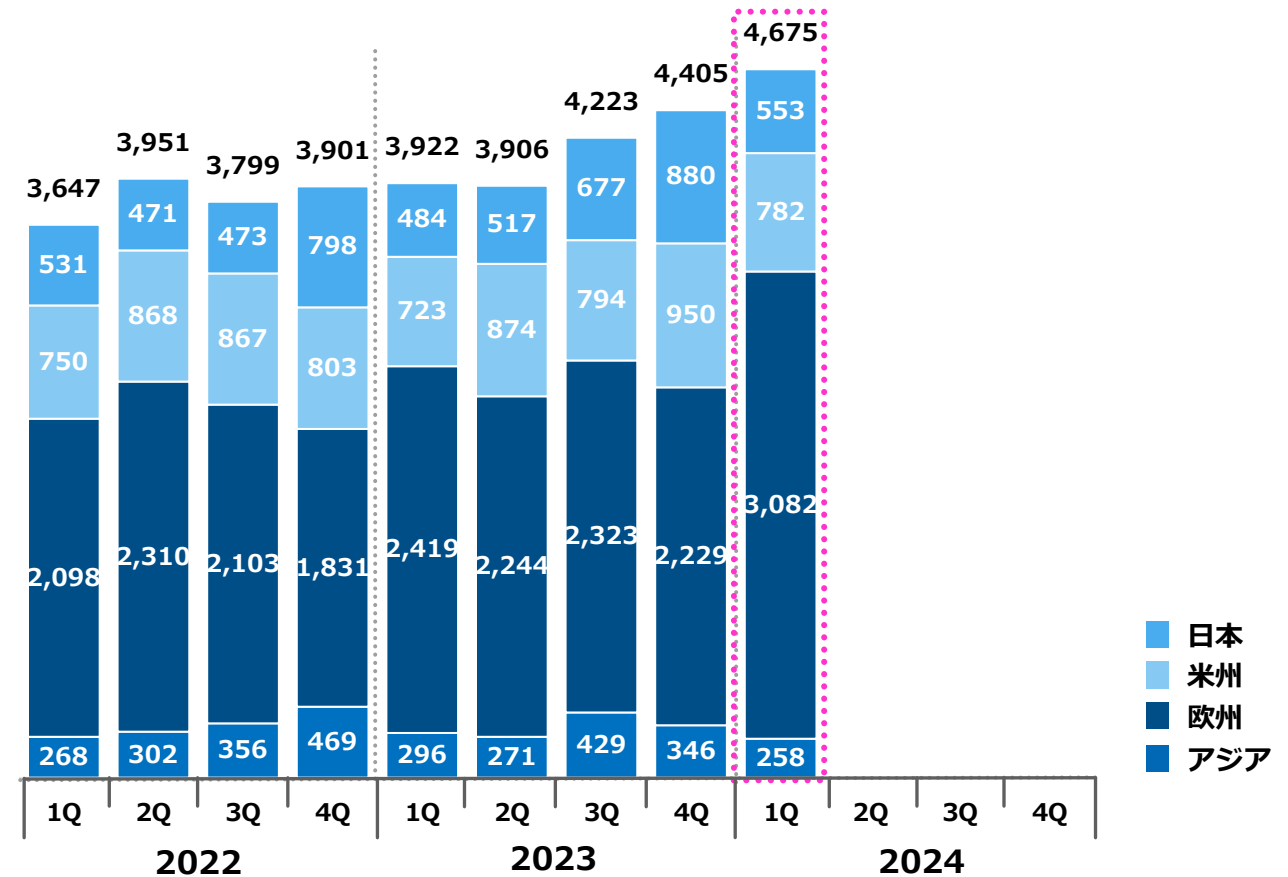
大型重要施設向け
レーザースキャンセンサー



カメラ付きセンサー

地域別・四半期売上高（単位：百万円）

※SS事業内のセグメント変更により、2022年度、2023年度の数値を組み替えて表示しています。



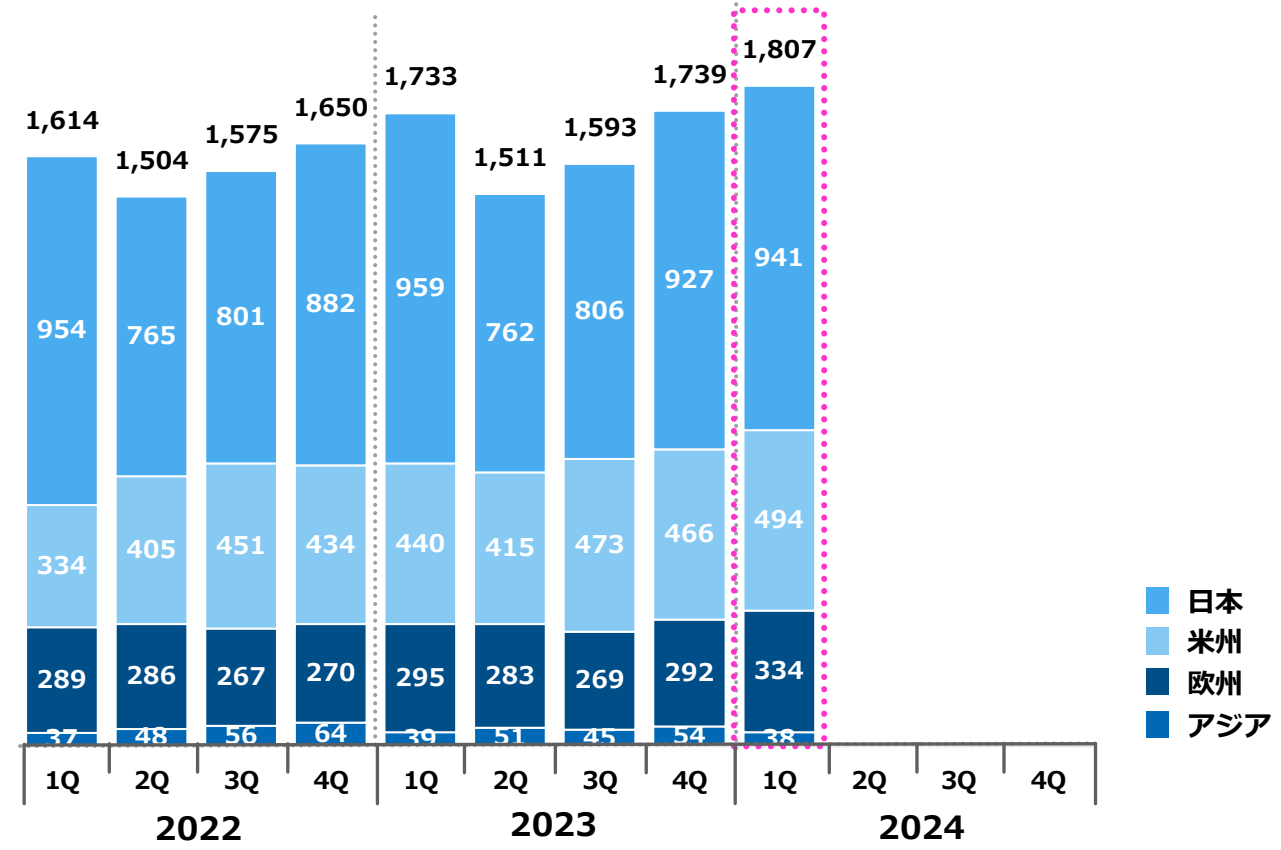
2023/12 1Q(1-3) 3,922
→
2024/12 1Q(1-3) 4,675
+19%

セグメント・SS事業（自動ドア関連）

地域	2024/12期 1Q(1-3) 業績のポイント
日本	・ 自動ドア用センサーおよびシャッター用センサーの販売が伸び悩む
米州	・ 自動ドア用センサーおよびシャッター用センサーの販売が前年並みで推移
欧州	・ 大手自動ドアメーカー向けの販売が前年並みで推移 ・ ドイツ拠点を新設し営業体制を拡充

地域別・四半期売上高（単位：百万円）

※SS事業内のセグメント変更により、2022年度、2023年度の数値を組み替えて表示しています。

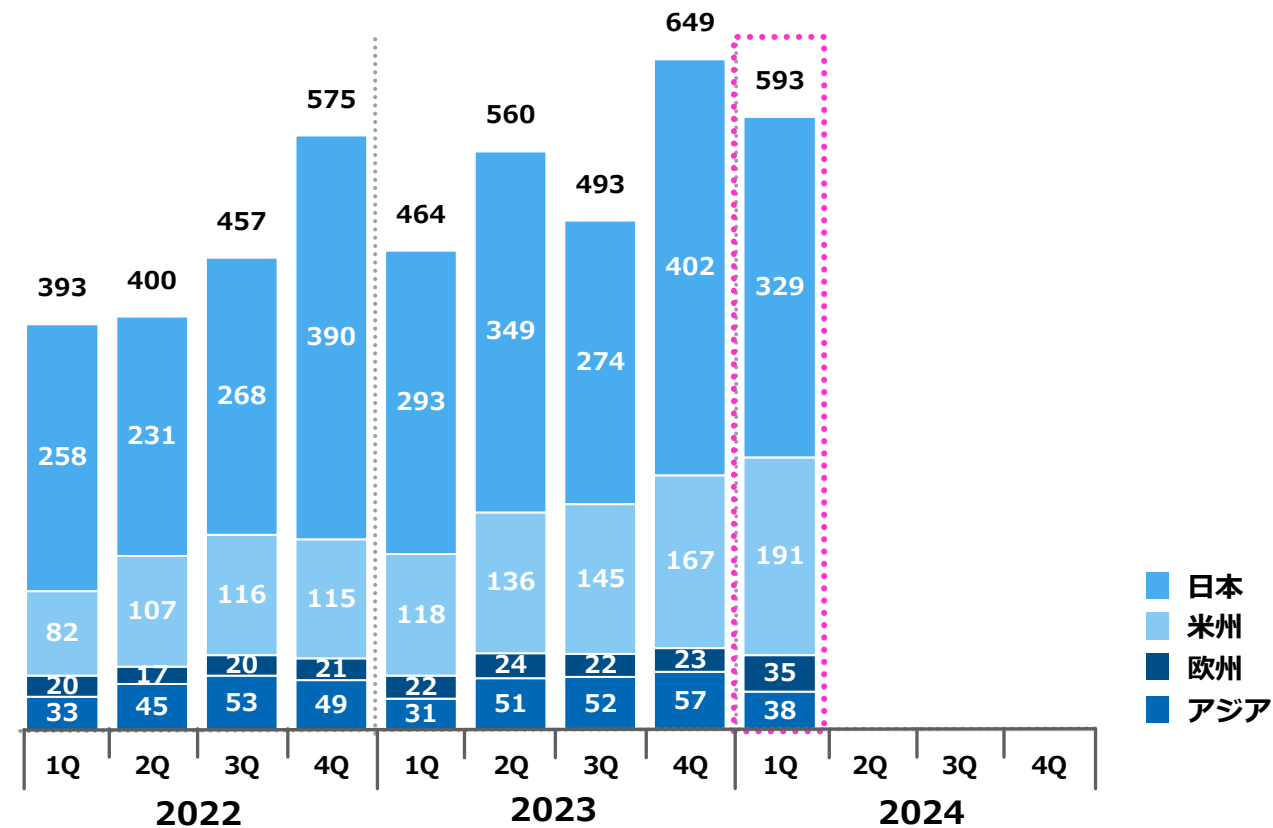


セグメント・SS事業（社会・環境関連）

地域	2024/12期 1Q(1-3) 業績のポイント
日本	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場向け満空管理システム（車両検知センサーおよび満空表示システム）の販売が順調に推移 ・ 水質センサーおよびデータマネジメントサービスの販売が堅調
米州	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場のゲート開閉用途で車両検知センサーの販売が順調に推移

地域別・四半期売上高（単位：百万円）

※SS事業内のセグメント変更により、2022年度、2023年度の数値を組み替えて表示しています。



車両検知センサー



水質計測データマネジメントサービス

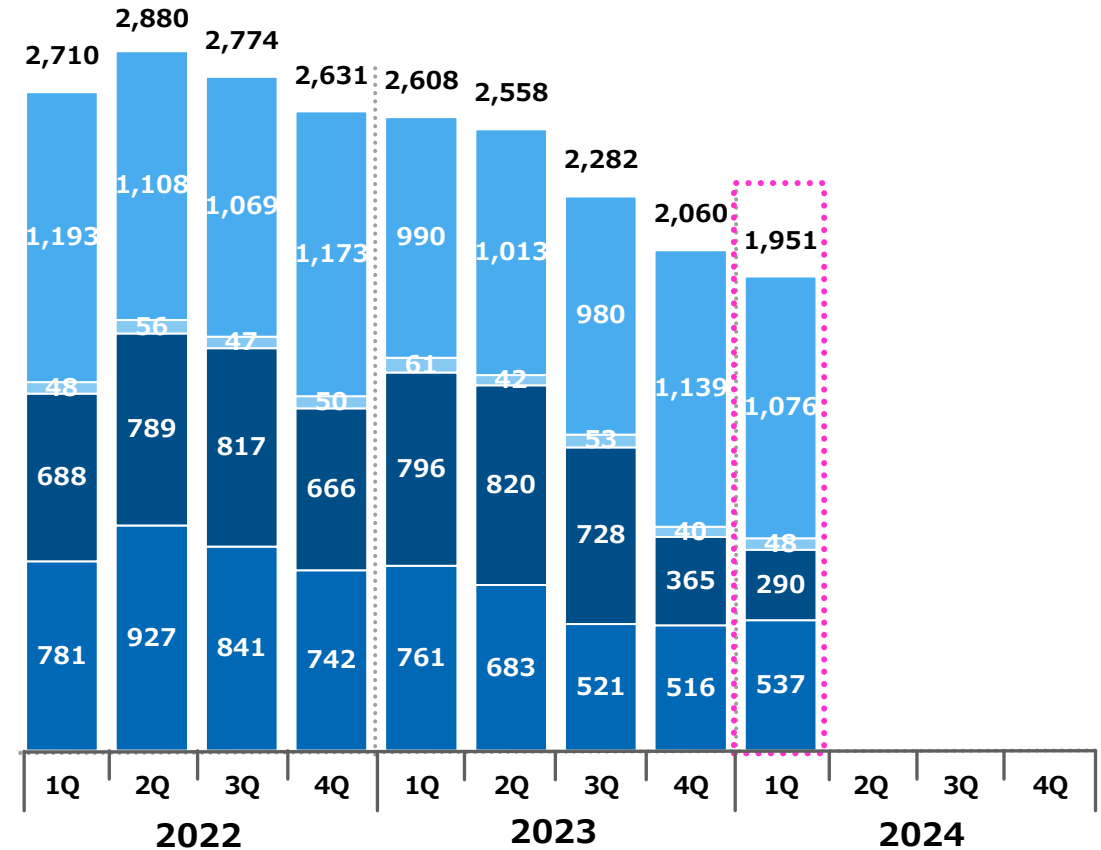
※事業内容の詳細は、21ページをご参照ください。

セグメント・IA事業（FA関連）



地域	2024/12期 1Q(1-3) 業績のポイント
日本	・顧客の在庫調整解消の動きにより半導体関連向けの販売が堅調に推移
欧州	・設備投資抑制の影響による主要顧客の在庫調整が継続し、汎用・変位センサーの販売が低調に推移
アジア	・中国の設備投資需要低迷の影響が継続し、変位センサーの販売が伸び悩む

地域別・四半期売上高（単位：百万円）



■ 日本
■ 米州
■ 欧州
■ アジア



変位センサー



IO-Linkマスター

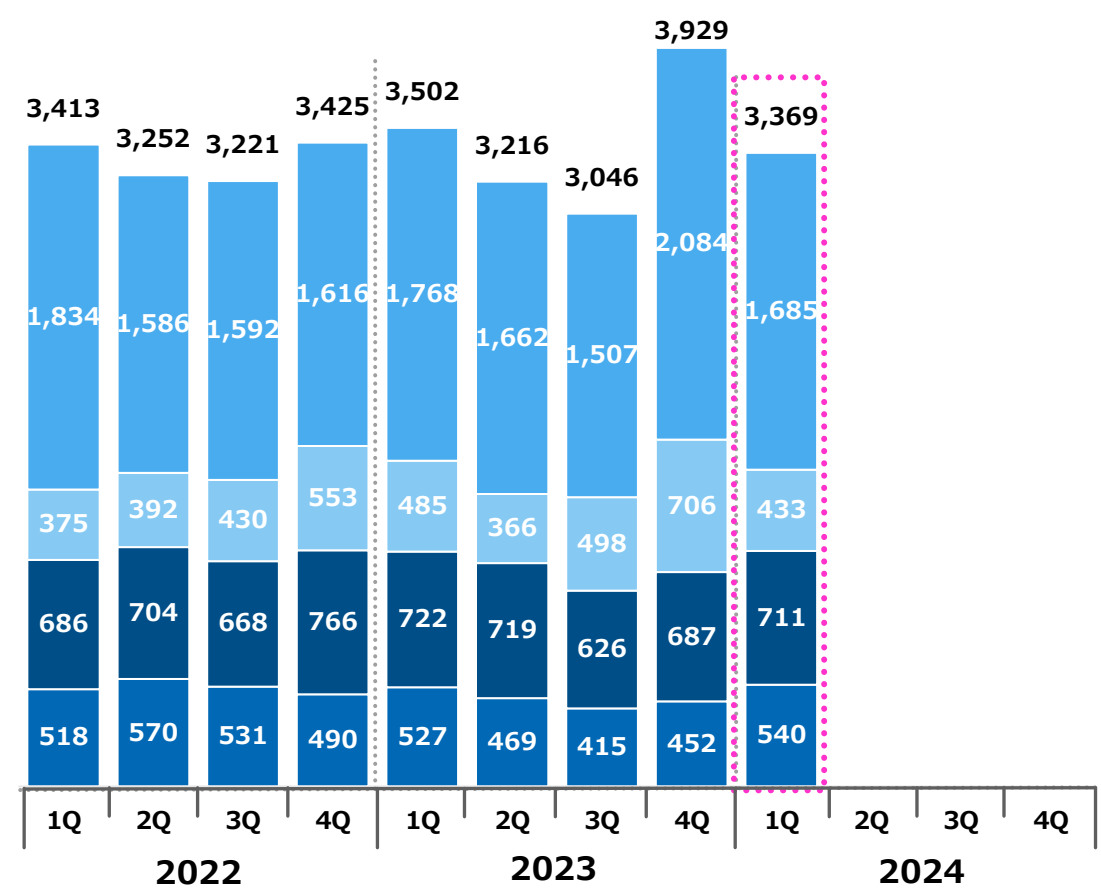
2023/12 1Q(1-3) 2,608 → 2024/12 1Q(1-3) 1,951
-25%



セグメント・IA事業 (MVL関連)

地域	2024/12期 1Q(1-3) 業績のポイント
日本	・EV関連業界向けの販売が拡大した一方で、半導体・電子部品向けの販売が低調に推移
米州	・フランス子会社製品の販売が、物流業界向けに堅調に推移
欧州	・フランス子会社製品の販売が、物流業界向けに堅調に推移
アジア	・中国で半導体関連向けの販売が伸び悩む

地域別・四半期売上高 (単位: 百万円)



■ 日本
■ 米州
■ 欧州
■ アジア



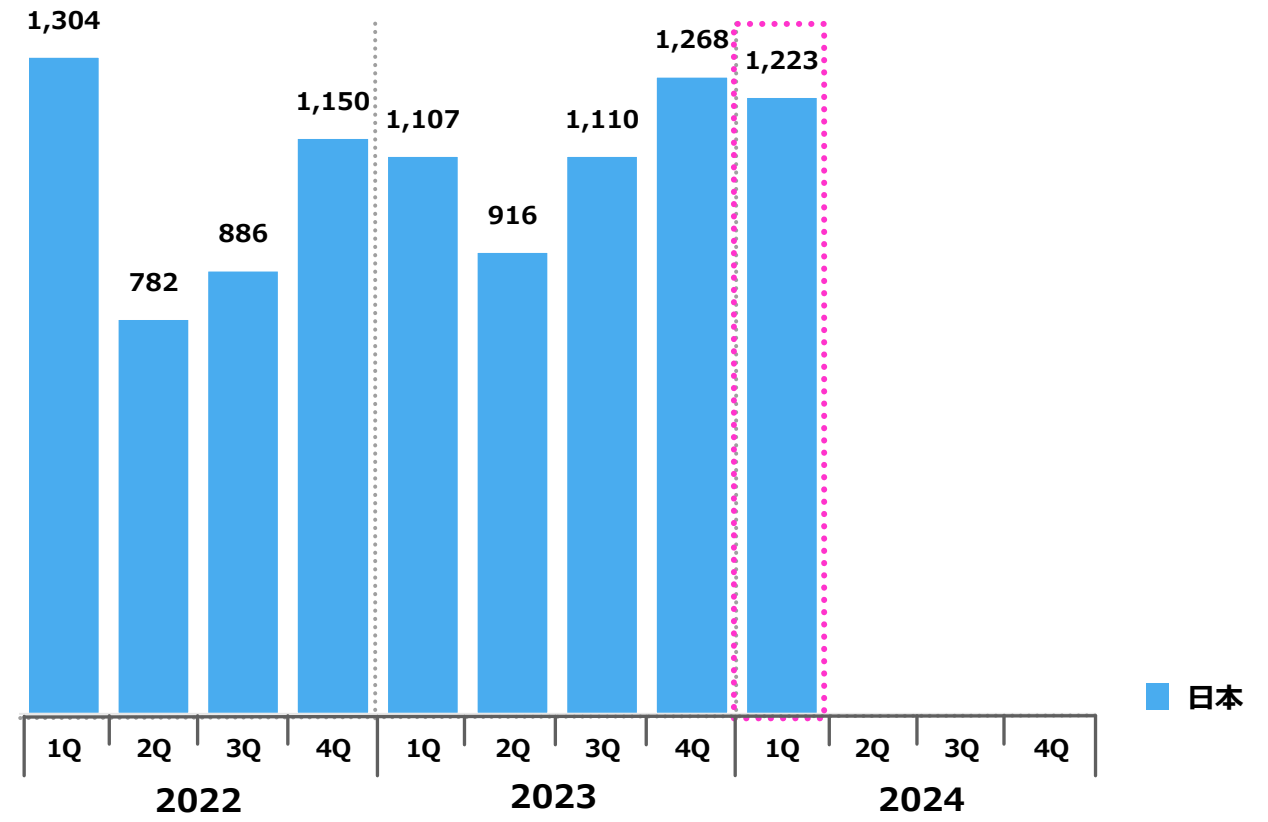
画像検査用LED照明

2023/12 1Q(1-3) 3,502 → 2024/12 1Q(1-3) 3,369 (-4%)

セグメント・IA事業（IPC関連）

地域	2024/12期 1Q(1-3) 業績のポイント
日本	・半導体製造装置および医療機器向けの販売が堅調に推移

地域別・四半期売上高（単位：百万円）



産業用コンピュータ



追尾用カメラ

2023/12 1Q(1-3) 1,107 → 2024/12 1Q(1-3) 1,223 +10%

セグメント・IA事業（MECT関連）



地域	2024/12期 1Q(1-3) 業績のポイント
日本	・ 二次電池製造装置の納入が順調に推移

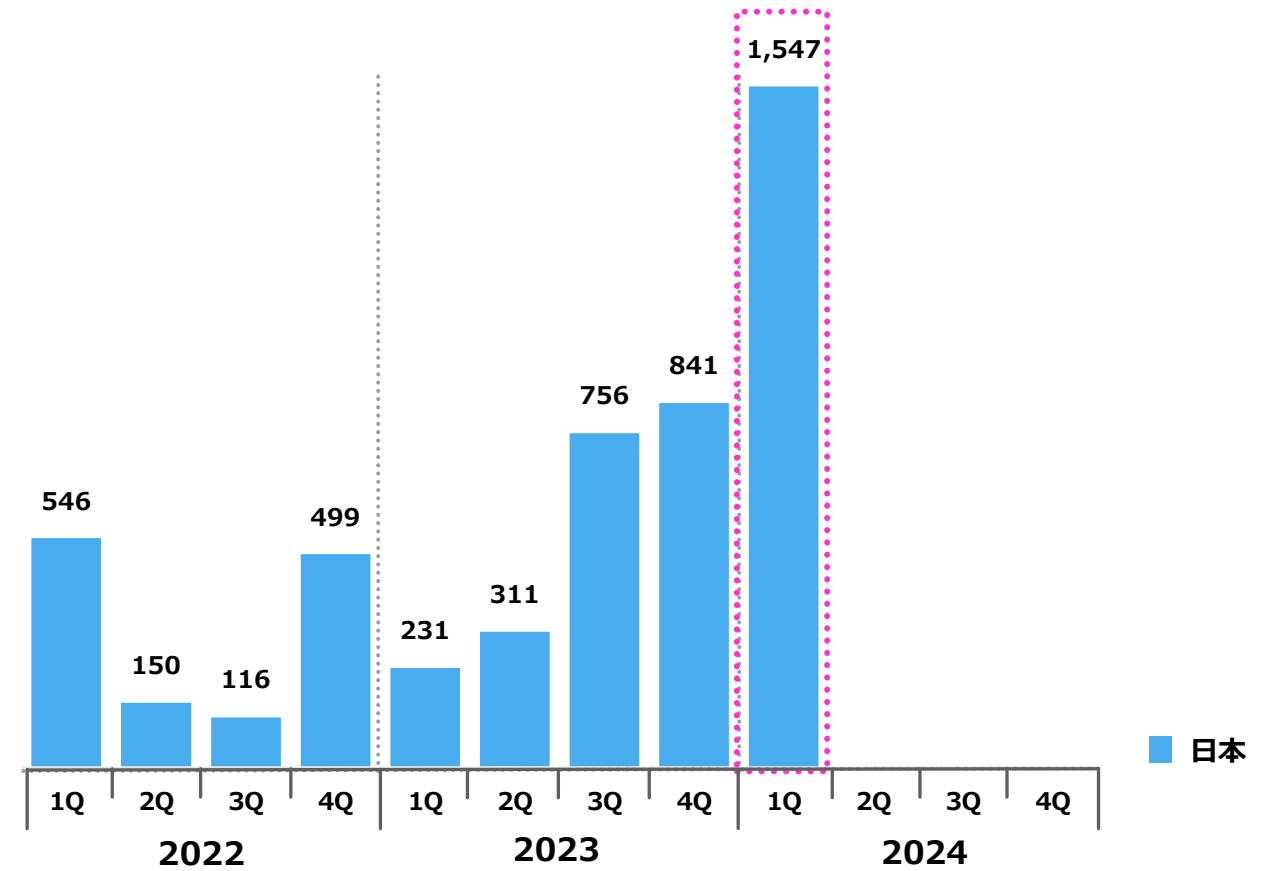
地域別・四半期売上高（単位：百万円）



電気自動車・ハイブリッド車向け
二次電池製造装置



画像処理検査装置



2023/12 1Q(1-3) 231 → 2024/12 1Q(1-3) 1,547

+570%



1. 2024年12月期 1Q決算概要

2. 2024年12月期業績予想

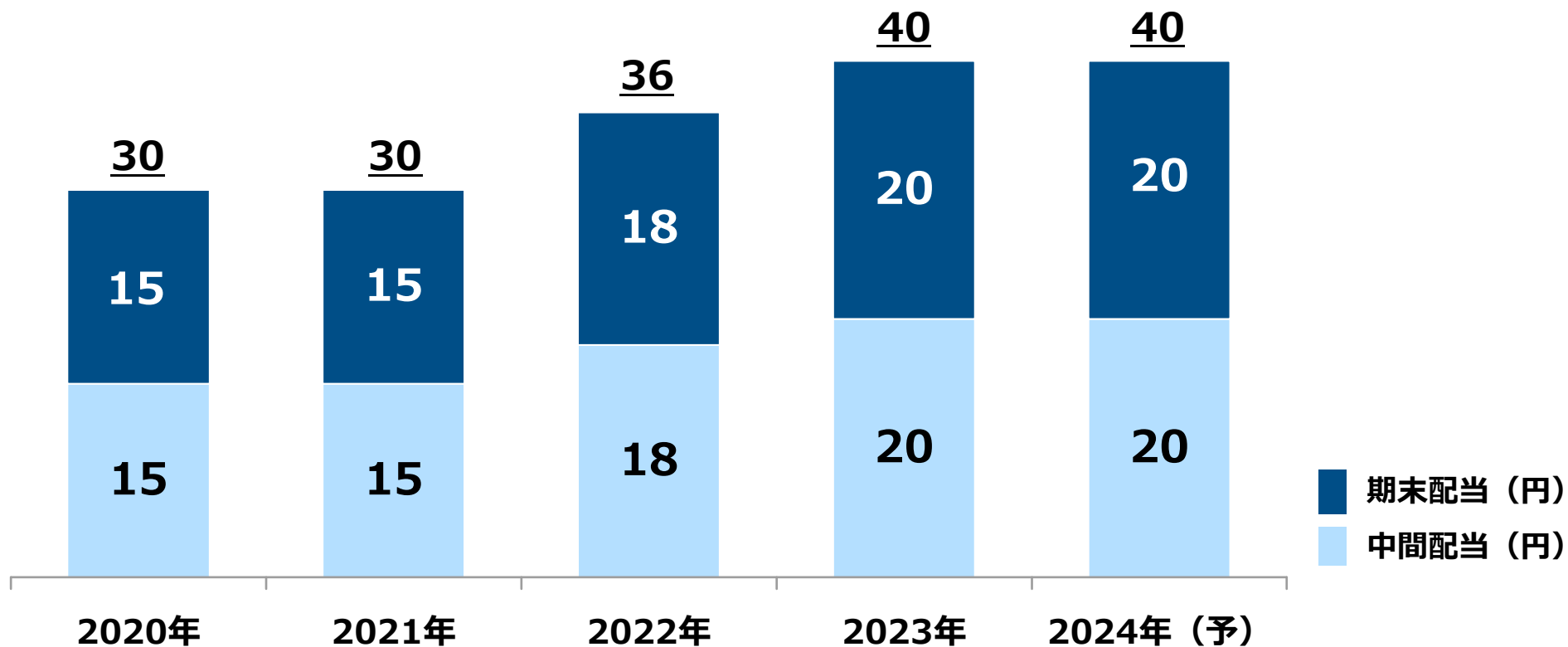
3. TOPIC

2024年12月期 通期連結業績予想

(単位：百万円)		2023/12期 通期実績	2024/12期 通期予想	対前年同期 増減率
売上高		56,372	61,000	+8.2%
営業利益 (営業利益率)		5,899 (10.5%)	6,600 (10.8%)	+11.9%
経常利益		6,258	6,600	+5.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益		4,608	5,000	+8.5%
1株当たり 当期純利益 (円)		129.73	140.74	
為替レート (円)	1USD	140.56	140.00	
	1EUR	152.00	150.00	

株主還元

配当性向30%を目処に、経営基盤強化と安定配当のバランスを勘案した株主還元を実行



配当性向	77.7%	28.8%	26.9%	30.8%	28.4%
ROE	4.3%	11.2%	12.8%	11.1%	-

自己株式取得
10億円 (63万株)

1. 2024年12月期 1Q決算概要

2. 2024年12月期業績予想

3. TOPIC

SS事業 社会・環境関連について

車両検知センサー : 環境負荷の少ない車両検知センサーで、駐車場や交通インフラの快適性を実現

【在車管理】 埋設工事が不要に。

【満空管理】 空き車室への誘導。

ループコイル

ポール設置型
車両検知センサー

地面をカットして埋設
再使用不可

施工・メンテナンスが容易
移設・再使用可能

ワイヤレス
車両検知センサー

空き状況の
見える化も可能



水質計測センサー : 水質測定からデータ管理まで自動化し、水質監視と予防保全の効率化を実現



<https://www.optexgroup.co.jp/>

会社概要

会社概要

会社名	オプテックスグループ株式会社
所在地	滋賀県大津市
創立日	1979年5月25日
資本金	2,798百万円
売上高	56,372百万円
営業利益	5,899百万円
決算月	12月
証券コード	東京証券取引所 プライム上場 6914
連結従業員数	2,353名 (数値：2023年12月期実績)

オプテックスグループは
センサーの総合メーカーです。

「見えないものを、見るしごと。」

【会社名の由来】

オプテックスグループ

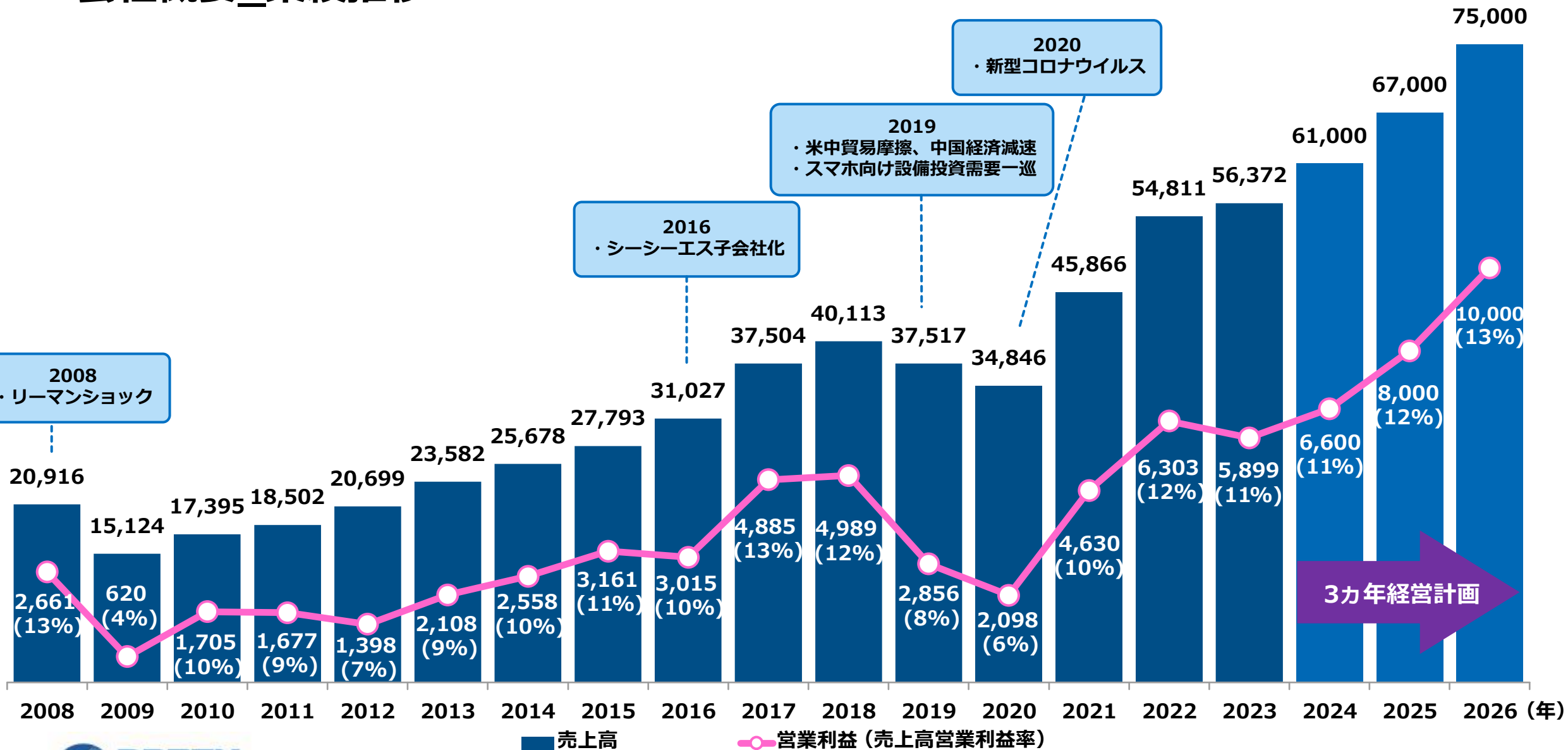
OPTEX

OPTical TEchnology
光学技術

未知、未来を表す
X (エックス=ギリシャ語)



会社概要_業績推移



2008
・リーマンショック

2016
・シーシーエス子会社化

2019
・米中貿易摩擦、中国経済減速
・スマホ向け設備投資需要一巡

2020
・新型コロナウイルス

3カ年経営計画



会社概要_沿革

- 1979年 創立
- 1980年 世界初、赤外線利用の自動ドア用センサーを開発
- 1985年 米国カリフォルニアに子会社を設立
- 1991年 店頭公開（旧JASDAQに相当）
- 1996年 屋外防犯用センサーを開発
- 2001年 東証二部上場
- 2002年 オプテックス・エフエー株式会社を設立
- 2003年 東証一部上場
- 2005年 中国に自社工場を設立
オプテックス・エフエー株式会社上場
- 2016年 シーシーエス株式会社を子会社化（63.5%の株式を取得）
- 2017年 オプテックス・エフエー株式会社を完全子会社化
オプテックスグループ株式会社を**持株会社**とする新体制に移行
- 2020年 サンリツオートメイション株式会社を子会社化
- 2021年 ミツテック株式会社を子会社化



創立当時



自動ドア用センサー1号機



屋外防犯用センサー



オプテックス・エフエーが開発した工場用センサー



中国の自社工場（広東省東莞市）



シーシーエスの画像検査用LED照明



オプテックスグループ株式会社

(東京証券取引所 プライム上場 証券コード : 6914)

オプテックス株式会社



防犯用・自動ドア用等
各種センサーの
開発・販売

SS事業

オプテックス・
エフエー株式会社



ファクトリーオート
メーション用センサーの
開発・販売

シーシーエス株式会社



画像検査用LED照明の
開発・製造・販売

サンリツオート
メイション株式会社



産業用コンピュータの
開発・製造・販売

ミツテック株式会社



ファクトリーオート
メーション用自動化設備
および画像処理検査装置の
開発・製造・販売

IA事業

オプテックス・
エムエフジー株式会社



グループ製品の製造・
電子機器受託生産

株式会社スリーエース



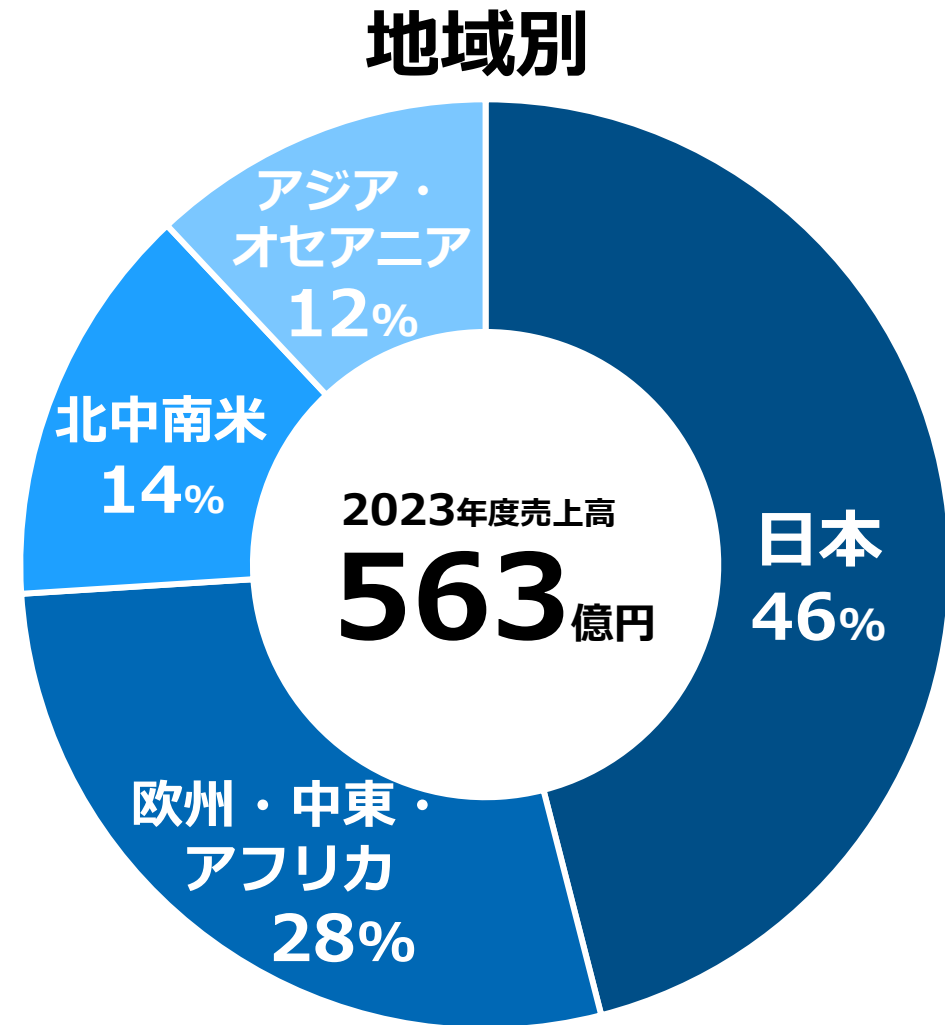
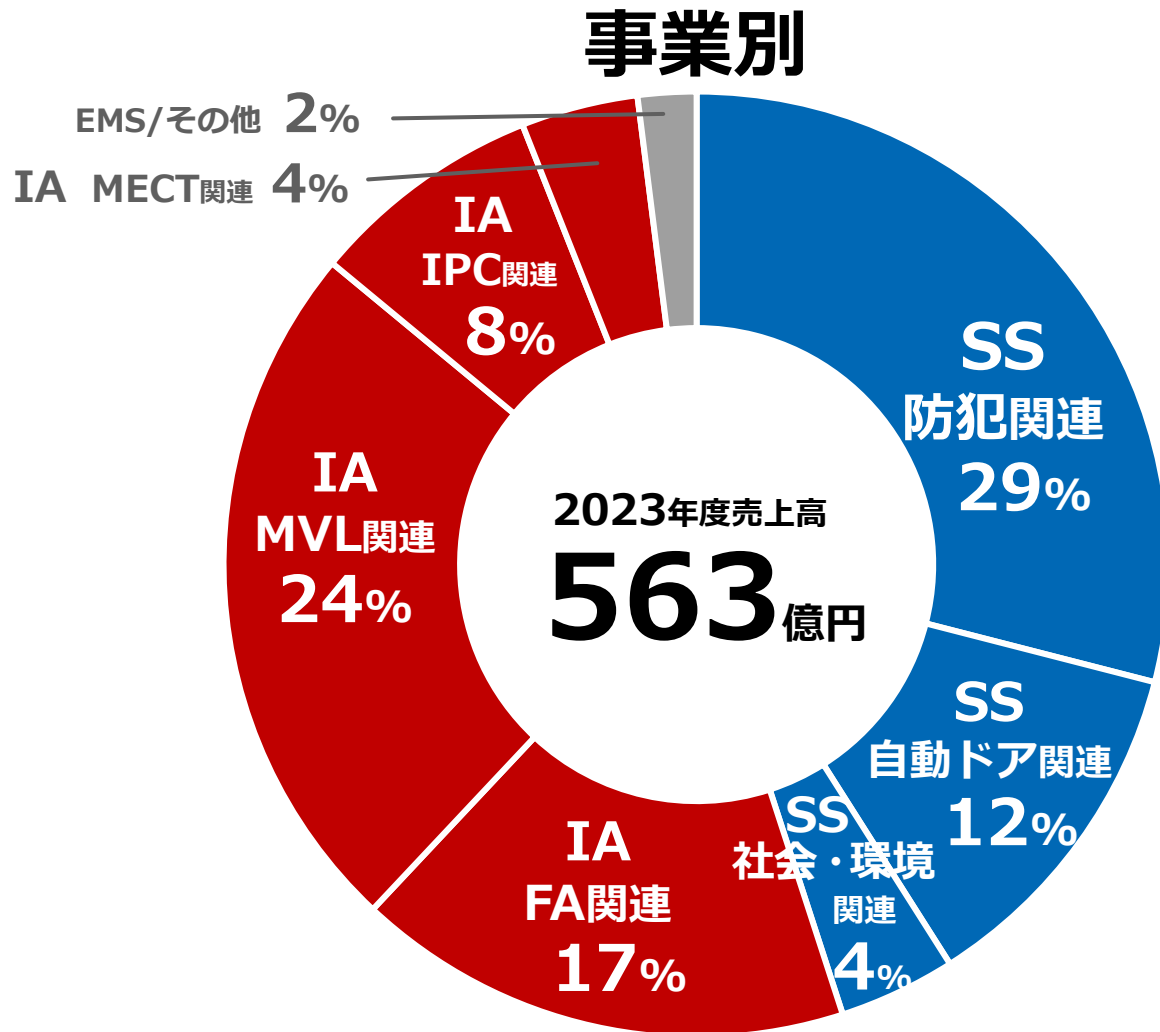
各種システムおよび
アプリケーション・
デジタルコンテンツ開発

オーパル
オプテックス株式会社



アウトドアアクティビティ
および環境体験学習の運営

会社概要_売上構成比



会社概要_マーケットシェア

「グローバルニッチNo.1」

防犯

40%

屋外用侵入検知センサー



大型重要施設向け
レーザースキャンセンサー



カメラ付きセンサー

自動ドア

30%

自動ドア用センサー



赤外線センサー



シャッター用センサー

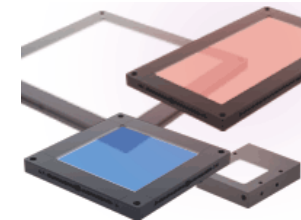


タッチスイッチ

画像検査用照明

30%

画像検査用LED照明



各種LED照明

事業概要_SS事業（防犯関連）防犯センサー

屋外用侵入検知センサーで世界トップシェア

一般家庭・商業施設など



【警備会社】
駆け付けサービス



欧米では警察が駆け付け



大型重要施設



事業概要_SS事業（自動ドア関連）自動ドアセンサー

国内シェア50%以上、海外シェア20%

1980年 世界初 遠赤外線式自動ドアセンサーを開発



マットスイッチ（床）



自動ドア用センサー1号機

空調エネルギーロスを減らし、CO2削減に貢献



無駄開きを抑止し、
冷気や暖気の漏れを防ぐ



ショッピングセンター



コンビニ向けシェア60%以上



病院



工場、倉庫用シャッター

事業概要_SS事業（社会・環境関連） 車両検知センサー、水質計測センサー

車両検知センサー：環境負荷の少ない車両検知センサーで、駐車場や交通インフラの快適性を実現

【在車管理】 埋設工事が不要に。

【満空管理】 空き車室への誘導。

ループコイル

ポール設置型
車両検知センサー

地面をカットして埋設
再使用不可

施工・メンテナンスが容易
移設・再使用可能

ワイヤレス
車両検知センサー

空き状況の
見える化も可能



水質計測センサー：水質測定からデータ管理まで自動化し、水質監視と予防保全の効率化を実現



事業概要_IA事業 (FA関連) 工場用センサー

工場の生産工程で自動化、省人化に役立つセンサーを提供

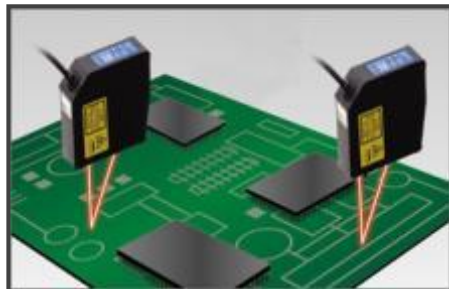
変位センサー



半導体、電気・電子部品業界向け



スマートフォンのフレームの高さ測定



基板の傾き、ソリ測定

画像センサー



三品業界向け (食品、医薬品、化粧品)



弁当・惣菜の食品表示ラベル検査

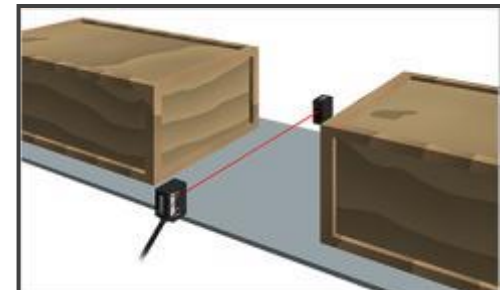


牛乳の賞味期限印字検査

光電センサー



物流業界向け



段ボールや木箱の通過検出



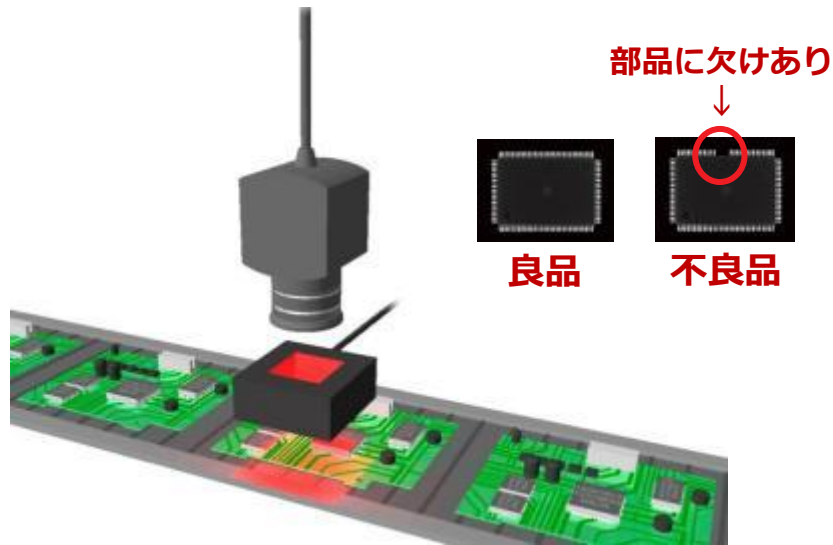
自動倉庫ではみ出し検出

事業概要_IA事業 (MVL関連) 画像検査用LED照明

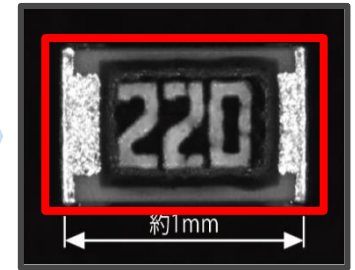
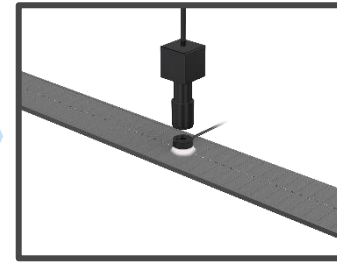
CCS は1993年設立の、LEDを活用した**検査用照明**メーカー

検査用照明とは？※

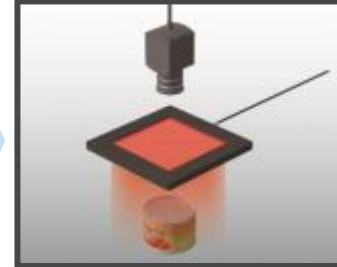
工場で何かを生産する場合は、**各工程ごとに必ず「検査」のプロセスがあり**、検査対象物を照明・電源、レンズ・カメラを使って撮像し、画像を基に「良品 or 不良品」の判定を行います。



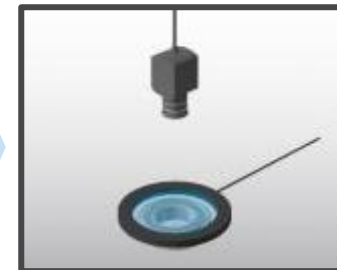
プリント基板の実装部品欠陥検査



小型チップ部品の文字・形状観察撮像



缶詰表面の汚れ撮像



ベアリングの刻印文字撮像

※ 画像処理用の照明として利用されることから、マシンビジョン照明と言います。

事業概要_IA事業（IPC関連）産業用コンピュータ

耐環境性、耐ノイズなどの信頼性の高い製品を提供

ハードウェア・ソフトウェアの豊富な開発ノウハウによる長期的な技術サポートが強み

産業用組み込みボード

半導体製造装置や医療・通信などの
コンピュータ・プラットフォームを提供



生産・社会インフラシステム

生産現場や社会インフラの
課題を解決するシステムを提供



先進計測・制御システム

ロボットなど、計測・制御用の
先進システム製品を提供



事業概要_IA事業（MECT関連） 自動化機械装置

自動化装置

高度なメカトロ技術を保有

- ✓ 高速・高精度充填技術
- ✓ 高速搬送技術 等

→ 厳しい要求水準に対応した高品質



設立以来、二次電池製造装置等の自動化装置の開発を手掛ける

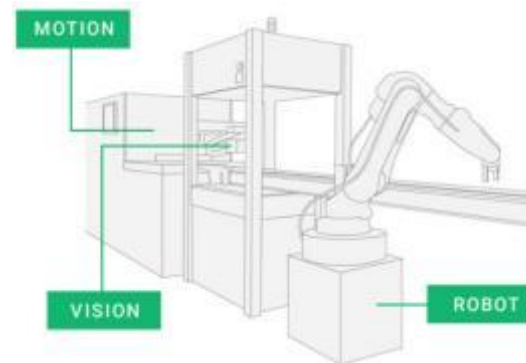
画像処理検査／計測装置

モノを動かす
「Motion技術」

×

モノを視る
「Vision技術」

→ 最適なソリューションを提供



お客様の課題に合わせてカメラ、LED照明、各種測定機等を組み合わせた画像処理検査システムを構築

ESGの取り組み

当社はサステナビリティ基本方針の元、ESG課題に積極的に対応し企業価値の向上に努めています。ESGレポートを作成しておりますのでぜひご覧ください（[レポートはこちら](#)）。



Environment (環境)

環境課題への取り組み

【TCFD提言への賛同】

「2030年までに2019年度比CO2排出量を30%以上削減する」という中長期目標を設定し、気候変動対応プロジェクトを中心にTCFDの枠組みに沿った対応を推進

【製品・ソリューションでCO2削減に貢献】

環境配慮型の製品・ソリューションの普及拡大に取り組む

自動ドアセンサー



無駄な開閉を防止することにより空調効率を改善

画像検査用LED照明



明るさを自動管理するフィードバック制御により省エネを実現



Social (社会)

社会課題への取り組み

「自己実現No.1」の会社を目指し、社員の成長のサポートや能力発揮のための人材育成と職場環境の整備を推進。



健康意識の向上や生活習慣の改善、メンタルヘルス対策の強化の取り組みにより、優良な健康経営に取り組む企業として、オプテックス㈱、オプテックス・エフエー㈱の2社が「健康経営優良法人」に認定。



Governance (ガバナンス)

企業統治への取り組み

当社の取締役会は、企業経営・経営管理、技術開発、生産、営業販売、海外での勤務経験、会計の専門性等をそれぞれ有効に活用する取締役5名（男性4名、女性1名）と、豊富な監査経験、税理士、公認会計士、弁護士の資格を有する等、高い見識と知見を有する監査等委員である取締役3名（男性2名、女性1名）で構成されています。

(2024年3月27日現在)



取締役会での活発な議論を通じた意思決定で戦略の質を高め、更なる企業価値の向上を実現。

<https://www.optexgroup.co.jp/>